

平成30年度 事業計画

I. 事業の概要

当協会の事業は、公益目的事業・収益活動事業・法人に係る事業に大別し、公益目的事業にあつては普及認定活動事業及び地域組織活動事業であり、具体的には公認コースの認定事業、アドバイザー・指導員など指導者の認定事業、機関紙やホームページによる広報事業、さらには愛好者拡大のためのイベントの計画や支援、地域組織の強化を図るための事業などを計画する。

一方、収益事業は用具用品等の認定と書籍・物品等の販売事業を計画しており、クラブ・ボール・ティなどの用具認定に係る益金及びシューズ・ウェアなどのグッズ用品に対する商標権の提供に係る益金、ルールブック等の販売益金が主なものである。法人に係る事業は、法人の管理業務に関するものやその他法人全般に係るものである。

II. 協会運営に関する事項

パークゴルフの正しい普及発展に寄与し、公益法人としての協会運営の充実を図るため、下記のとおり会議等を開催する。

(1) 平成30年度 定時総会

平成30年4月19日(木) 札幌市

(2) 平成30年度 理事会、役員会

帯広市外その都度開催

※ 組織概要等 平成30年2月5日現在

① 日本協会加盟団体(会員数) 861

【正会員(連合会)】 40

【普通会员】 441

【コース会員】 332

【一般賛助会員】 35

【工業会賛助会員】 13

② コース数 1,219コース(うち公認コース 345コース)

Ⅲ. 事業の実施に関する事項

1. 公益目的に係る事業

(1) 認定事業

1) コース認定事業

- 新規申請及び更新申請コースを随時審査・認定する。

(認定審査委員会は、原則隔週木曜日に開催)

更新 93 コース、新規 10 コース、増設 5 コースを予定する。

2) 指導者認定事業

- パークゴルフの普及・指導にあたる指導者（指導員・アドバイザー）を養成し、組織的指導体制の確立を図るために認定講習会を実施する。

実施主体 日本協会、各連合会、市区町村協会（40 連合会、2 協会）

予定人数 指導員 1,270 人、アドバイザー 800 人

(2) 普及事業

1) パークゴルフふれあい事業

- ① 新しいパークゴルフ愛好者への普及活動（各連合会・市区町村団体事業）への支援（連合会等普及活動事業支援）

- 初心者教室の開催（H28, 22 連合会 参加人員 2,155 人、日数 83 日）

- 小・中・高校生への啓蒙活動・学校への出前教室等の開催

- 三世代パークゴルフ交流会の開催

- 健常者と障害者とのパークゴルフ教室や交流大会の開催

- コース会員との普及活動の推進

- 普及用 DVD の作成

- ② 地域間交流、世代間交流のための、パークゴルフイベント（大会等）の実施及び支援を行う。

- 日本パークゴルフ協会の主催大会（3 大会）

「NPGA杯第 8 回 全日本パークゴルフ大会 2018 北海道上川」

北海道旭川市 9 月 22 日～23 日（土・日）

「第 32 回パークゴルフ国際大会」 北海道幕別町 6 月 17 日（日）

「第 32 回パークゴルフ北海道オープン」 北海道滝上町 7 月 8 日（日）

- 日本パークゴルフ協会の協賛大会

☆全国大会（6 大会）

- ・第22回パークゴルフ全国交流大会「さくらカップ」
(宮城県大崎市 5月12・13日(土・日))
- ・パークゴルフ全国大会「りんどうカップ2018」
(岩手県洋野町 6月9・10日(土・日))
- ・第5回全国パークゴルフ十和田大会
(青森県十和田市 7月28・29日(土・日))
- ・第12回全国パークゴルフ交流大会 in 射水
(富山県射水市 9月9日(日))
- ・第九回 全国パークゴルフ東京大会
(千葉県酒々井町 10月14日(日))
- ・2018 相馬松川浦カップ全国パークゴルフ選手権大会
(福島県相馬市 12月1・2日(土・日))

☆複数パークゴルフ協会連合会共同主要大会(7大会)

○ねんりんピック富山2018の支援

(富山県射水市 平成30年11月3～5日(土～月))

③ パークゴルフ協会等の組織強化の取り組み

- 協会、連合会設立に向けて各地域への出前相談の開催
- 平成30年度 都道府県パークゴルフ協会連合会連絡会議
平成30年4月19日(木) 札幌市
- 平成30年度 ブロック会議の開催
開催地及び開催日時 未定
- 連合会における会員増強及び組織体制の強化への支援

④ 体育協会等の連携促進の取り組み

- 日本レクリエーション協会への加入、都道府県体育協会への加入の検討

⑤ パークゴルフの日(8月9日)の宣伝活動の推進

- ポスターの配布等。

⑥ 海外普及活動

- 海外における「パークゴルフ」の正しい普及を図るため、基準にあったコースの設置の指導や用具・用品等の相談などを推進。
- パークゴルフ国際連盟の発足に向けた韓国等との協議の促進

2) 広報事業

- 協会広報紙は年5回（合併号を含む）で毎号約9,100部発行。
- 全会員、指導員、関係機関等及び定期購読者へ配付する。
- 会員、指導員等の発送部数の見直しを図る。
- 掲載内容は、当協会の主催事業のほか各地域の普及活動を紹介し、愛好者の増大につながる情報を伝えるとともに、ボランティアによる地域通信員からの情報など、全国の情報を発信する。（スポーツ振興くじ助成申請予定）
- ホームページはデザインを一新する。（スポーツ振興くじ助成申請予定）
- そのほか、パークゴルフに関する情報収集、広報活動を行う。

3) 研修会等事業

- 指導者研修会を実施する。
パークゴルフの普及・指導にあたる指導者（指導員・アドバイザー）の資質の向上を図るために実施する。
実施主体 日本協会、各連合会、市区町村協会。 136箇所で開催する。

2. 収益事業

(1) パークゴルフ用具の認定

- 公認申請用具（新規・更新）は、認定審査委員会を開催し、認定する。
（認定審査委員会は、原則隔週木曜日に開催）

(2) 商標使用申請の承認は、審査委員会を開催し、承認する。

- （審査委員会は、原則隔週木曜日に開催）

(3) 書籍等販売事業

- パークゴルフの正しい普及のため「パークゴルフ・ルールブック」等を販売する。
- パークゴルフの普及促進のためバッチ・メダル・幟を販売する。